青年部が「砂場クリーン作戦」を実施します！

来る10月27日(土)に、県内12ヶ所の幼稚園・保育園で、園の砂場をキレイにするボランティア活動を実施します。

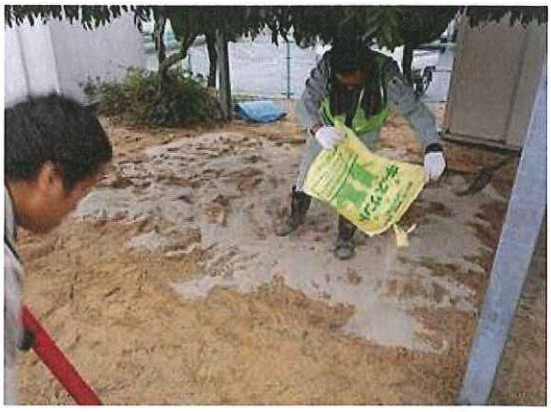
青年部は、今まで様々なボランティア活動を行なってきましたが、より地域に密着し、喜ばれる活動を考え、平成22年からこの活動を続けてきています。

具体的には、園の砂場の砂を交換・洗浄したところに、抗菌作用のある砂を混ぜ込む事により、長期間に渡り清潔な砂場環境を実現するというものです。

現在まで県内約30ヶ所の園で実施してきましたが、非常に喜ばれており、今後とも続けていければと考えています。

（雨天時は、11月10日(土)に実施）

※昨年実施した園の模様



※青年部長インタビュー
（H24.10.25付 佐賀新聞）

ロビー

27日に県内12カ所の幼稚園と保育園に、砂場の砂をプレゼントする佐賀県建設業協会青年部。山口淳也部長(42)＝山儀建設副社長＝は、子どもたちがのびのびと遊んでくれるようにと願いを込め、準備を進める。

「砂場クリーン作戦」と名付けたボランティアは、2010年にスタート。動物のふんなどで汚れた砂場で、抗菌作用のある砂を混ぜ込んで全て新しく入れ替え、園児や保護者に喜ばれている。

「普段は工事で皆さんに協力してもらっている。各建設会社がそれぞれの地元でお礼の気持ちを伝えたい」

青年部には建設会社の後継者ら79人が所属。これまでも各地で道路や海岸の清掃、植樹などのボランティアを地道に続けてきた。「建設業という仕事を理解してもらうために、地域に密着し、いろいろな人と触れ合いたい」と、部員の思いを代弁する。

公共事業の予算縮小によって受注競争は激しくなり、売り上げも従業員数も減っている会社も少なくない。「将来はまだ手探り」だが、「こういう時期だからこそ前向きに仕事をしたい」とも。

近年、豪雨などの自然災害が増えている。道路や河川、橋などのメンテナンスの需要増を見込むとともに、県民生活を支えているという矜持(きょうじ)も胸に、「皆さんに安心して暮らしてもらいたい」。伊万里市。（北島郁男）

佐賀県建設業協会青年部長

山口　淳也さん（42）

「地域に感謝」地道に奉仕